

気軽に声をかけてください!

3月から6月までの4か月間、朝日診療所で勤務をしていただく会津中央病院看護師の古川和貴さんです。古川さんは今回只見町に初めて来られましたが、猪苗代町出身なので雪には慣れているとの事で、診療所では地域の皆さんとたくさんコミュニケーションをとり、様々な事を経験したいと話してくれました。

古川さんは明るく話しやすい性格ですので、診療所で見かけたらぜひ気軽に声をかけてください。



広報ただみ診療所

朝日診療所
医師 榎田 啓十



「退任のご挨拶」

皆さんこんにちは。今年は雪も少なく穏やかな冬になりました。

今回は健康に関する情報ではなく、少しご挨拶をさせていただきたく、広報ただみに掲載させていただきました。

4月からの人事が正式に決定し、私は3月いっぱいで見見町を去ることとなりました。4月からは出身大学である神奈川県東海大学医学部付属病院で小児科医として勤めることとなります。もともと関東出身で縁もゆかりもなかった只見町に赴任してからもうすぐ2年になります。診療所やこぶし苑に勤め、只見町に住むことで多くの人と関わることができました。その中でたくさんの事を

教わり、経験し成長することができました。関わってきた方々にご挨拶したい気持ちではありますが、なかなか叶わず、心苦しい限りです。気軽に遊びに来るのはなかなか困難ではありますが、それでも暇を見つけてまた来ようと思います。

また、只見町に勤めることもあるかと思っておりますので、その時は温かく迎えて頂ければ幸いです。

最後になりますが、健康管理に注意され、これからも元気にお過ごしください。元気な姿の皆さんとまたお会いできることを楽しみにしております。短い間ではありましたが、とても親切にいただき、ありがとうございました。本当にお世話になりました。

地域おこし協力隊として vol.17 只見町教育振興協力隊 末谷 広大

『季節は巡る』

2月29日の只見町山村教育留学生第12期生送別式、3月1日の福島県立只見高等学校卒業式を終え、3年生はそれぞれの未来へと旅立ちました。様々な地域から只見町に来て、只見高校に通い、只見の人に触れてどのように感じたのでしょうか。何かを学び取ることが出来たとすれば、それは金銭的、物的な支援を受けて得たものではなく、便利で快適なシステム導入により得たものでもないと思います。不便でも他者と助け合って、励まし合う毎日の中で、他者との「繋がり」の中で得たものなのではないでしょう

か。卒業生の皆さんはきっと、他者との繋がり大切さを理解し、親元と離れて共同生活を送る中で、「心」が成長していると思います。

社会に出るとこれまでのようにうまくいかないことや、理不尽なことが沢山あると思います。辛くなって押しつぶされそうになることもあると思います。しかし、後ろを振り向けば後輩や学校の先生、家族だけでなく、これまで関わってきた只見町の皆さんが背中を押してくれ、心が沈む時は話を聞いてくれる友がいますので頑張ってください。